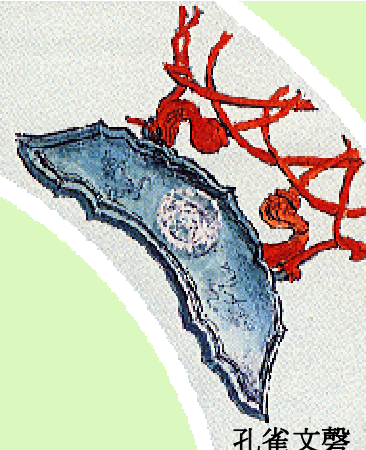


2010-11年度
RIテーマ
「地域を育み、
大陸をつなぐ」



週報宇佐



孔雀文馨



RI会長
レイ・クリンギンスミス



第2720地区ガバナー
木下 光 一



宇佐ロータリークラブ会長
津々良 洋 一



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19
トキハインダストリー長洲店 2F
TEL (0978) 38-1112

会 長 津々良 洋 一
幹 事 幡 手 一 義
編 集 本 庄 伸 子

2月は世界理解月間

本日のプログラム (2月24日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 石部幸二会員
6. 出席報告

2月の行事予定

- 3日 会員増強フォーラム 長浦善徳委員長
- 10日 外部卓話 APU留学生 ブッディーさん
(スリランカ)
- 17日 内部卓話 是永潤一会員
- 24日 内部卓話 石部幸二会員

第2144回例会 平成23年 2月17日 の記録

- 🔄 点 鐘
- 🔄 ソ ン グ 四つのテスト
- 🔄 ゲ ス ト なし
- 🔄 ビジター なし

会長の時間 津々良洋一会長

先週末は大雪予想があり、心配していましたが、大分はそれほどの降雪はなく、生活に支障を来すこともありませんでしたが、地域によっては積雪による災害となっている処もあるようです。皆様のなかにも遠方に行かれた方で悪戦苦闘された方もおられるのではないのでしょうか。ちょっと温かくなってきたので、気をゆるめていましたが、まだまだ春は先といった感じです、体調には十分ご注意ください。

さて何を話そうかと考えていましたが、ロータリーをふりかえってみますと、ロータリーでは、今月

2月は世界理解月間 (World Understanding Month) となっています。そして、今月23日来週水曜日になりますが、ロータリー創立記念日とされています。

これは、1905年2月23日が、ポール・ハリス(弁護士)、ガスターバス・ローア(鉱山技師)、シルベスター・シール(石炭商)、ハイラム・ショーレー(仕立屋)の4人が、シカゴで初めて会合を開いた日で、この日をロータリーの創立記念日としています。創立に関するいきさつについては、皆様ご存じかと思いますが、今月ロータリーの友(P28)に

USA-OITA 第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市大字江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内
TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

も記載されているので、お読みになってください。

そして、2月23日に始まる1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、この奉仕活動を強調することが決議されており、今月を世界理解月間と指定されています。

ロータリーは、友愛の心で結ばれた4人の会合に始まりましたが、3年後にはサービスの概念が導入され、今では世界166ヶ国の地域に広がり、クラブ数31,000以上、会員総数およそ120万人という大きな奉仕組織に発展しました。1921年、スコットランドのエジンバラ国際大会において、「ロータリーの綱領」の中に「奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること」という第4項が組み入れられ、その後、色々なプログラムで世界平和について視野を広め、平和への情熱を表明してきております。しかしながら、1945年以来、120を超える深刻な武力紛争が世界各地の国を荒廃させ、2,500万人以上の人々が犠牲になっています。そして、今日に至るまで、中東を中心に民族や宗教上の対立、貧困や差別、抑圧への反抗などによる紛争やテロの種はつきません。国際ロータリーでは、国際的な政治問題に対する団体声明を出すことは禁じられていますが、平和と正義の原則に基づき国際的難問を平和交渉によって解決するために、自己の影響力を行使することはすすめられています。

この月間中、ロータリークラブは世界平和に不可欠なものとして、理解と善意を強調するクラブ・プログラムを行うよう要請されています。ロータリーは様々なプロジェクトを実施しています。世界社会奉仕や国際親善奨学生、GSE（研究グループ交換）、米山奨学生、青少年交換、国際奉仕では姉妹クラブ交流、一つ一つは、世界平和の実現というテーマに直結しないかもしれませんが、地道な取り組みをことごとと積み重ねることこそが、大事なように感じます。といことでご理解頂ければとおもいます。

ちなみに、3月は識字率向上月間、日本ではほぼありませんが、世界では9億人以上の人々は読み書きができません。成人、そして子どもに向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することが要請されています。なお、R I 理事会の決定により2006年から、識字率向上月間は、7月から3月に変更となっております。4月は雑誌月間、6月はロータリー親睦活動月間です。

幹事報告

幡手一義幹事

1. 来信

- 1)熊本西ロータリークラブより「創立25周年記念式典のご案内」；回覧
- 2)宇佐ライオンズクラブより「創立50周年記念式典のご案内」；回覧

2. 例会変更

別府RC：①3/4(金)の例会は、同日18:30～「ホテルニューツルタ」に変更；第4回クラブ協議会（全員協議会）の為 ②3/11(金)の例会は、同日18:30～「ビーコンプラザ3F」に変更；地区大会懇親部会リハーサル例会の為

中津平成RC：3/31(木)の例会は、定款第6条第1節に基づき休会

3. 週報受理

中津RC

4. 理事会報告

なし

5. お知らせ

1)各行事への登録料等について、2月25日に口座振替を実施致します。銀行口座残高のご確認をお願い致します。

①豊後高田RC50周年登録料…10,000円

②地区大会登録料…16,000円

③大分中央RC30周年登録料…10,000円

※②③は参加者のみ

6. 欠席連絡

新開洋一会員、高橋和治会員、和田久継会員

7. 本日の当番

小野田義文会員、辛島光司会員

スマイルカード

藤本博和委員長

幡手一義幹事：是永SAA卓話宜しくお願ひします。

是永潤一会員：まだまだ寒い日が続きそうです。寒中見舞申し上げます。

本庄伸子会員：長浦さんも先々週話していらっしやいましたが、恵美子さんからメールがきました。5月の連休にいらっしやるそうですので、その時は又集まりましょう!!

藤林鋭司会員：昨日河村会員&藤本会員に大変お世話になりました。

末宗為十会員：家の梅が満開です。

藤本博和会員：是永会員今期2回目の卓話よろしく

お願いします。楽しみです。

砂山正則会員：是永会員さん本日は卓話を御苦労様です。残念ですが職業奉仕の為早退させていただきます。

住本憲彦会員：職業奉仕の為早退させていただきます。

☺ニコニコ累計 351,000円

内部卓話

「木鷄をめざした力士 双葉山」

是永潤一会員

皆様のお手元にレジュメを配らせていただきましたが、今日は「木鷄をめざした力士」、皆さんご存知の、宇佐が生んだ大横綱双葉山関についてお話させていただきます。



実は、この双葉山について掘り下げていくことになったきっかけは、宇佐市塾の平田崇英塾長（教覚寺住職）が平成元年に出版された「双葉山の世界」という本です。

双葉山は、明治45年2月の生まれですので、今、生きていれば99歳となります。それで、来年は双葉山生誕100年の記念に市を挙げてイベントをしようということになっていましたが、相撲界が揺れ動いていまして、11月の九州場所のあとに、こちらの100年祭に花を添えていただくということで白鵬関をお呼びしていましたが、年内は巡業がどうなるか分からないということで残念に思っています。

今、こういう相撲界に、批判だけを浴びせるだけではなく、少し応援してくれるような組織とか、人の声も必要ではないかと思ひ、2月の卓話で取り上げてみました。

まず、生まれたのは旧天津村の布津部（ふつべ）というところ。父親は中津から養子にこられた内田さんといい、母親も田染のほうから養子にこられた方です。そうしますと、純粋に宇佐の方とは言えないかも知れませんが、宇佐の布津部の海を見て育った宇佐人ということです。日本では、古希があり、喜寿があり、米寿がありますが、99歳のお祝いは何と言われるかご存知でしょうか？

「白寿」と言います。私どもの宿にも白寿の方が年に一人ぐらいお見えになります。身内の方がお祝

いで連れて来られます。ではなぜ、白寿というのでしょうか？百という漢字があります。その百の上の一をはずした、つまり一を引いたら白という字になりますね。語呂合わせです。

小学校は、今の天津小の前身の学校に行ったのですが、お父さんは木炭などを仕入れて運ぶ船舶運送業をしていて、子供の頃は、地域では「ぼん」（坊ちゃん）と呼ばれていました。父の事業失敗というのは、どうも大きなお金を持ち逃げされたことにあるようです。小学校時代の通信簿が残っていますが、甲乙平の評価のうち、双葉山はほとんどが甲でした。大変頭のいい子供だったようです。こうやって、展示されているということは、展示できるような良い通信簿だったということです。



小学校を卒業して家業を手伝うわけですが、借金もなかなか片付かず、相撲道へと進んでいくこととなります。もう、覚えている方もどんどん亡くなっていっていますが、最初のころは相撲もそれほど強くなく、「あの人（双葉山）に勝った」という方も宇佐にはいらっしやいました。その頃は、相撲は強くはなく、走るのが大変速かったそうです。借金を抱えながら細々と営んでいた海運業も、船が時化で沈んでしまい、その時は海に投げ出されて命拾いをしたものの、他の船に雇われて働いたそうです。体が大きかったので、交渉して大人と同じ賃金で長時間働いたそうです。

昭和2年に当時の大分県警本部長の双川さんという方が大分合同新聞に出た「中津の怪童」を立浪部屋へ紹介し、入門したそうです。

四股名の双葉山ですが、この双川さんの「双」をとったのではないかとされています。今、天津にあります二葉山神社は「二葉」の字です。本人の言葉によりますと、「当時、自分は弱かったので梅檀の木に例えて、双葉より出世して、芳しい梅檀になる」という意味で「双葉」を使ったということです。地元の二葉山神社も当然意識をされたと思います。

昭和2年の入門ですが、序の口から十両まで負け越し無しで順調に出世しました。そして、昭和7年に相撲界では事件が起こります。労働組合のようなもので、当時の親方のやり方とか、給料の面など色々なことで反発をして、力士がストライキを起こ

したということです。彼は十両力士でしたが、幕内力士のうち29人、十両22人のうち19人が参加したストライキには参加せず、協会側に残ったと言われていました。その時には、協会も強気に出ましてストライキに応じず、力士が大幅に減りましたので、番付が特進で前頭の4枚目まで上がったということです。

双葉山の相撲の特徴は、ここにも書いていますが、力水は最初の1回しかつけない、待ったをしないということです。これは、いつでも立てるように、また、集中力が途切れないようにするためだったと言われてます。また、奇襲・外連味（ケレンミ）のない正攻法の相撲であったそうです。

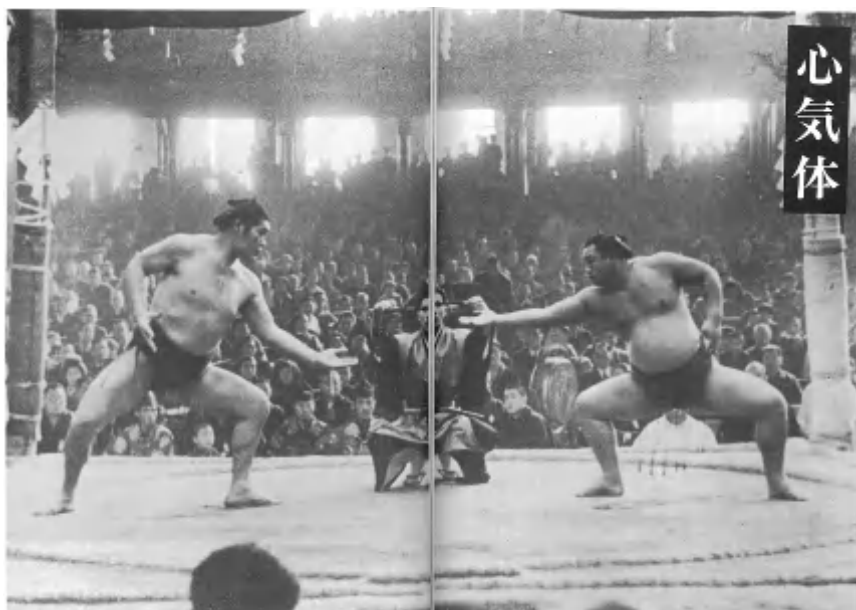
この昭和7年は力士が減っていますので2月は8番しか相撲をとっておらず、3月も10番、5月が11番ということになっていますし、年間に4場所となっています。実は、当時東京が本場所2場所となっており、名古屋・大阪は準場所と言われていました。

昭和11年の24歳の歳から69連勝は始まりです。ちょうど白鳳も今24歳です。

この年の5月場所で大関に昇進しますが、この頃には当時のお金で5千円から1万円の借金があったと自叙伝には書いてあります。今で言うと5千万から1億円くらいでしょうか。これが、だいたい返済できたということも書いています。お父さんは体の小さい人でしたが、その時に送った電報は「フタバミンナカッタノオ チチウレシ ヨシヒロ」という宇佐弁も混じった心のこもった文章でした。

昭和12年の1月場所が11勝全勝、5月場所が13勝全勝、昭和13年の1月場所13勝全勝、5月場所13勝全勝となっています。昭和11年の9勝2敗の中から連勝が始まって丸3年負け知らずでしたが、昭和14年の1月場所4日目で安芸ノ海に破れ、連勝は69で止まりました。

当時は戦争中で、満州で巡業がありましたが、そこでアメーバ赤痢を患い130キロの体重が100キロを割るほどになったそうです。そうして東京に戻ってきて4日目に破れたのですが、大変体調の悪い中で連勝ストップとなりました。安芸ノ海も盲



男女ノ川

三段

構え

双葉山

腸の手術のあとで、傷口から膿が出ていたと言う話もありますので、どちらも体調は悪かったようです。

この70連勝成らずの日は、誰も想像していなかったことでしたが、当時のNHKの和田真堅アナウンサーがラジオ放送でとっさに「齢70、古希稀なりといいますが、ついに双葉山70連勝ならず、新鋭安芸ノ海に敗れました。」という言葉が出たということで、今でもNHKでは語り草となっているそうです。また、このときは号外がでましたが、東京空襲などで現存しておらず、探しています。負けてここまで騒がれたということで、出羽ノ海親方も安芸ノ海に「勝って褒められるより、負けて騒がれる力士になれ」という言葉を送ったそうです。

翌年、双葉山は小柴澄子さんという方と結婚しました。普通の堅気の娘さんということで、これも異例のことでした。当時の各界では、部屋の切り盛りや弟子の切り盛りなどの面から、茶屋の娘さんなどと結婚するのが通例となっていましたので、周囲の反対を押し切って結婚されました。

当時、準場所とされた名古屋や大阪などの場所も含めると87連勝となっていました。準場所では花相撲のようなところもあったと思いますが、桁違いの連勝であったと思います。

昭和16年には、立浪部屋を離れ、双葉山相撲道場を開設したりしていますが、昭和20年の東京大空襲で私邸を消失し11月に引退届けを提出しています。

昭和22年、戦後の混乱期に璽光尊事件に巻き込まれます。今で言う新興宗教です。囲碁の呉清源に誘われ、金沢の地で璽宇教に入信しました。敗戦の

ショックから平静さを失い、心のよりどころを求めていた「求道人生ゆえの勇み足」ということでした。しかし、大横綱が新興宗教に取り込まれたとあっては困るということで、警察力を使って無理やりに引っ張り出したそうです。そうでもしなければ、出てこなかったということです。無理やりに離脱させたということです。

その後、そういうことから目を覚まし、相撲協会理事に就任して様々な改革を行ったということです。相撲診療所の開設・横綱審議委員会の設立・相撲協会運営審議会の設立・行司部屋の独立・一代年寄制度の廃止・力士、行司、床山の定年制度導入などがあります。

今、宇佐では、「双葉の里」に戦後60連勝以上の力士の登録をして町おこしにつなげたいと考えています。宇佐市塾が中心となって60連勝以上の力士を、双葉山と白鵬しかいませんが、祀りたいと考えています。白鵬という方は昨年お忍びで来ましたが、情報が漏れてしまい、地元の方が700人で歓迎しました。その時に、双葉山の生家で一人静かに黙祷を捧げ語ってくれた言葉が、「僕はたとえ69連勝を超えたとしても、双葉山を越えたわけではない」という奥ゆかしいものでした。このときに、集まった人は「この人になら連勝を越えられても構わない」と思ったそうです。

そして昭和43年になくなりましたが、お墓も東京にありますし、子供（実子）も亡くなって、その奥さんしか生きていないということです。なかなか本当の本人のことを語る人は少なくなっています。

双葉山は計算してみますと、私が中学生くらいのころまで生きていたようですが、残念ながら、あまり子供の頃に双葉山のことを意識したことはありませんでした。

平田さんはコラムの中でこのように語っています。

「白鵬が双葉山の69連勝に挑戦したお陰で、また双葉山に注目が集まっている。地元では、69連勝が抜かれるのではないかと大騒ぎだ。抜かれてしまったら、相撲の神様が宇佐からモンゴル

へ移ってしまうという冗談も出ている。しかし、双葉山の真価は連勝記録にあるのではなく、木鶏の言葉に代表されるような、志の高さにあった。相撲を通して人間を磨くという相撲道に高めたというところが尊いのである」

70連勝ならずの日に「ワレ イマダ モッケイニアラズ」という電報を打っています。

「莊子」などから引用した言葉で、鬪鶏を育てる名人の「いかなる敵にも無心、木の鶏のように見える、全てが充実して天下無敵」という言葉があります。この木鶏を最後まで目指した志の高さや逆境の越え方が、伝記として学ぶに値する人物だと思えます。

<磯永会員より>

余談ですが、私が小学校1年生のときに、双葉山が69連勝で負けました5月場所のあと、長洲に地方巡業に来ました。横綱も普段は忙しいでしょうが、69連勝で負けたあとに里帰りしてやっと一息というところであったと思います。当時の長洲の小学校はものすごく広がったのですが、その真ん中に土俵を作って土俵入りをしました。その時の記憶は忘れません。そしてお嫁さんの小柴澄子さんも来ていました。大変美しい人で、控え室にいるときに横綱の背中を優しく拭いてあげている姿などが忘れられません。その時は羽黒山が太刀持ちで鏡山が露払いでした。それから、もう一度、終戦で引退してからの里帰りで、八幡小学校に来ましたが、私は中学校1年生でした。この引退相撲も歩いて見に行きました。



このときも立錐の余地がないほどの人手でした。そして、集まった人にお礼や挨拶を述べたのを覚えていますので、どれほど自分が古い時代の人間か分かりますが。その後、時津風親方となり九州場所で九電にきていましたので、1～2回見に行きました。その時は、もう理事長となっていて、入口のところに控えていました。その時に挨拶すると、にこっとして「よくこられました」と言ってくれました。その後1～2年して亡くなりましたが、私は3回双葉山を見ております。



手形と揮毫

木鶏をめざした力士

— 横綱 双葉山の生涯 —



出席報告 出口幸太郎委員長

第2144回 (2月17日)

会員総数	29名
(内出席免除)	0名
出席数	24名
(内事前MU)	0名
欠席数	5名
出席率	82.76%

欠席者

新開洋一会員、高橋和治会員、長浦善徳会員
中村明美会員、和田久継会員

※出席率の更正

◎2月3日の出席率は1名のメイクアップ
により86.21%→**89.66%**に更正

☑事後MU 岩井謙次会員 (宇佐200IRC)

大分中央RC 創立30周年記念式典

日時：平成23年2月20日(日) 13:00～

場所：大分東洋ホテル

藤林会員、藤本会員、石部会員が出席して来ました。

